

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第23作成期 (2023年5月27日から2023年11月27日まで)

第 133 期 / 第 134 期 / 第 135 期
決算日2023年6月26日 決算日2023年7月26日 決算日2023年8月28日

第 136 期 / 第 137 期 / 第 138 期
決算日2023年9月26日 決算日2023年10月26日 決算日2023年11月27日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2027年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 Kインドア・インカム・ファンド (クラスG) 米ドル建て等のインドの債券等 コタック・フレクシー・デット・ファンド (クラスA) インドルピー建ておよび米ドル建て等のインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円で為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

インド債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
109期(2021年6月28日)	円 4,506	円 40	% 0.6	% 97.2	百万円 32,481
110期(2021年7月26日)	4,460	40	△0.1	96.5	31,495
111期(2021年8月26日)	4,433	40	0.3	96.1	30,600
112期(2021年9月27日)	4,463	40	1.6	95.1	30,140
113期(2021年10月26日)	4,444	40	0.5	94.6	29,400
114期(2021年11月26日)	4,519	40	2.6	97.2	29,122
115期(2021年12月27日)	4,427	40	△1.2	97.2	27,806
116期(2022年1月26日)	4,373	40	△0.3	95.2	27,108
117期(2022年2月28日)	4,337	40	0.1	96.4	26,585
118期(2022年3月28日)	4,446	40	3.4	96.7	26,886
119期(2022年4月26日)	4,588	40	4.1	97.2	27,231
120期(2022年5月26日)	4,453	40	△2.1	97.2	25,829
121期(2022年6月27日)	4,613	40	4.5	95.9	26,512
122期(2022年7月26日)	4,571	40	△0.0	96.9	26,170
123期(2022年8月26日)	4,567	40	0.8	95.8	25,895
124期(2022年9月26日)	4,589	40	1.4	96.1	25,457
125期(2022年10月26日)	4,626	40	1.7	96.3	25,489
126期(2022年11月28日)	4,433	40	△3.3	96.7	24,309
127期(2022年12月26日)	4,194	25	△4.8	96.9	22,926
128期(2023年1月26日)	4,188	25	0.5	95.2	22,780
129期(2023年2月27日)	4,211	25	1.1	97.0	22,683
130期(2023年3月27日)	4,142	25	△1.0	97.2	22,250
131期(2023年4月26日)	4,289	25	4.2	96.6	22,931
132期(2023年5月26日)	4,393	25	3.0	97.3	23,372
133期(2023年6月26日)	4,541	25	3.9	96.3	24,139
134期(2023年7月26日)	4,481	25	△0.8	96.3	24,059
135期(2023年8月28日)	4,536	25	1.8	96.8	24,330
136期(2023年9月26日)	4,551	25	0.9	96.5	24,490
137期(2023年10月26日)	4,543	25	0.4	96.8	24,398
138期(2023年11月27日)	4,586	25	1.5	96.5	24,708

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

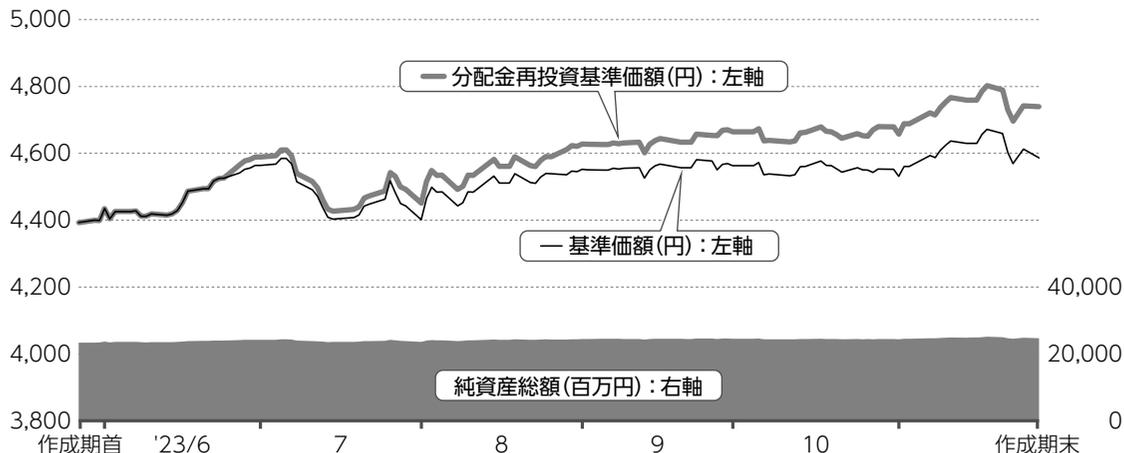
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第133期	(期 首) 2023年5月26日	円 4,393	% —	% 97.3
	5月末	4,435	1.0	97.0
	(期 末) 2023年6月26日	4,566	3.9	96.3
第134期	(期 首) 2023年6月26日	4,541	—	96.3
	6月末	4,564	0.5	96.1
	(期 末) 2023年7月26日	4,506	△0.8	96.3
第135期	(期 首) 2023年7月26日	4,481	—	96.3
	7月末	4,402	△1.8	96.6
	(期 末) 2023年8月28日	4,561	1.8	96.8
第136期	(期 首) 2023年8月28日	4,536	—	96.8
	8月末	4,552	0.4	96.7
	(期 末) 2023年9月26日	4,576	0.9	96.5
第137期	(期 首) 2023年9月26日	4,551	—	96.5
	9月末	4,563	0.3	96.5
	(期 末) 2023年10月26日	4,568	0.4	96.8
第138期	(期 首) 2023年10月26日	4,543	—	96.8
	10月末	4,531	△0.3	96.6
	(期 末) 2023年11月27日	4,611	1.5	96.5

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,393円
作成期末	4,586円 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	+7.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- インドルピー/円相場が上昇したこと
- 米国の長期金利(10年国債利回り)は上昇しましたが、米ドル建てインド債券の対米国債スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小し、期を通じてみれば、米ドル建てインド債券の価格が上昇したこと
- R B I (インド準備銀行)がインド国内のインフレ圧力が緩和したことで政策金利を据え置いたことから、期を通じてみれば、インドルピー建てインド債券の価格が上昇したこと

投資環境について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

インドルピー建てインド債券市場と米ドル建てインド債券市場は共に上昇しました。為替市場では、インドルピーは円に対して上昇しました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。インド国債利回りは上昇しましたが、クーポン収入を含めたトータルリターンはプラスとなりました。インドのCPI（消費者物価指数）は食品インフレの鎮静化により予想通り減速しました。コアCPIも落ち着いていたことから、RBIは当面の間金融政策を一時停止するとの期待が広がり、長期債利回りの上昇は小幅にとどまりました。

米ドル建てインド債券市場は上昇しました。米経済の底堅さを背景にFRB（米連邦準備制度理事会）が連続して利上げを実施するなど、タカ派（インフレ抑制を重視する立場）姿勢を維持したため、米国債の利回りはイールドカーブ（利回り曲線）全体で上昇しました。

9月にFRBが政策金利予測を変更して2024年に予想される利下げ幅を6月時点よりも縮小させたことから、利回りの上昇は10月下旬まで続きました。

社債スプレッドは、5月に投資家のリスクセンチメント（投資家心理）改善を受けて縮小

した後、安定的に推移しました。10月に米国債利回りが急上昇した局面では投資家のリスク回避姿勢が強まり一時的にスプレッドが拡大しましたが、期末にかけて再び縮小し、期を通じてみればスプレッドは縮小しました。

為替市場

インドルピーは期を通じてみれば対円で上昇しました。

インフレの鈍化に伴いFRBは利上げペースを減速させましたが、底堅い景気を背景に政策金利を長期間より高水準に維持するとの見方が広がり、主要通貨に対して米ドル高基調が継続しました。一方で日本はイールドカーブ・コントロールの修正を行ったものの、緩和的な金融政策を継続したことから、米ドル高・円安が進行しました。ただし、投資資金の純流入が続くインドではインドルピーの対米ドルでの下落が小幅に留まり、その結果、期を通じてみればインドルピー・円は上昇しました。

ポートフォリオについて（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシリー・デット・ファンド(クラスA)」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。期を通じて、満期までの期間が7年から10年までの債券のウェイトを段階的に引き上げ、期初に約3.2年とした期末のデュレーション(投資資

金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)を約4.3年としました。

コタック・フレキシリー・デット・ファンド (クラスA)

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。ポートフォリオのデュレーションを10月まで低位に維持した後に、満期までの期間が7年から10年までの債券のウェイトを引き上げ、期初に約1.5年としたデュレーションを期末には約5.7年へ引き上げました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心とし、変動金利の国債から固定金利の国債への入れ替えを行いました。

ベンチマークとの差異について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	(0.55%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.54%)
当期の収益	25	21	25	25	24	25
当期の収益以外	-	3	-	-	1	-
翌期繰越分配対象額	567	564	566	566	565	567

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド（クラスG）」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

K インディア・インカム・ファンド （クラスG）

米ドル建てのインドの社債については、FRBが長期国債の入札を一時停止し、発行額を引き下げたことで、金利上昇圧力は若干

緩和されました。30年物長期国債利回りが5%という水準は借入コストとしてかなり高水準であるため、早晚ピークアウトすると考えていました。現在のFRBのスタンス次第では、年末が近づくに連れて利回り水準を抑制する方向に働く可能性があるともみており、ポートフォリオのデュレーションを長めに維持する方針です。

コタック・フレキシー・デット・ファンド （クラスA）

RBIは、食品価格の安定化によるインフレ圧力の緩和を受けて政策金利を6.5%に据え置き、中立スタンスを継続すると予想して

インド債券ファンド（毎月分配型）

います。9月にインド国債が2024年6月よりJPモルガン新興国債券指数に採用されることが決定したことは、中長期的にインド国債とデュレーションにとってプラスであり、

この発表を受けてインドルピー建てポートフォリオのデュレーションを引き上げています。今後もポートフォリオのデュレーションを長めに維持する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	25円	0.554%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,526円です。
（投信会社）	(7)	(0.148)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(18)	(0.389)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	25	0.557	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

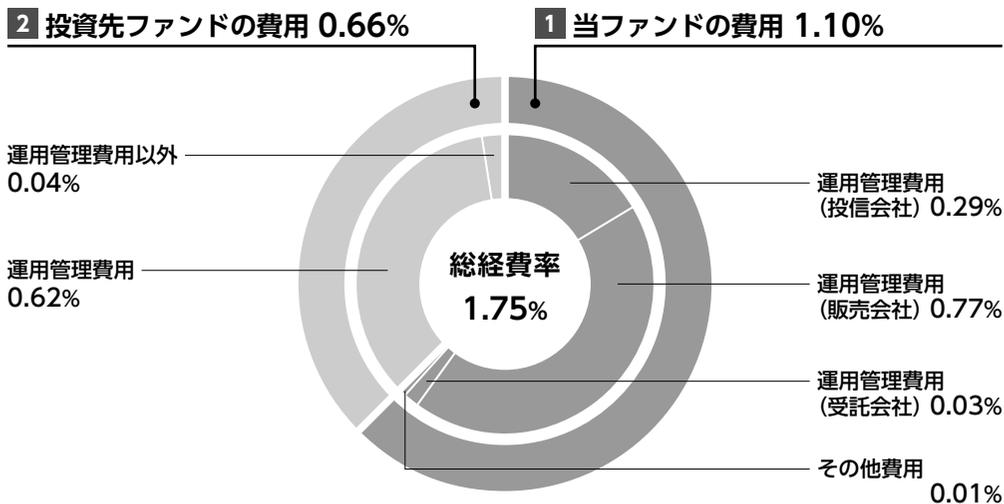
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)		1.75%
1	当ファンドの費用の比率	1.10%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

※ 1の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.75%です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2023年5月27日から2023年11月27日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）	172,647	244,000	28,974	41,000
	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	8,131	160,000	17,055	329,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年5月27日から2023年11月27日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年5月27日から2023年11月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年11月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）	11,514,276.592	11,657,949.208	16,597,027	67.2
コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	362,695.595	353,770.827	7,247,992	29.3
合 計	11,876,972.187	12,011,720.035	23,845,020	96.5

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産の構成

(2023年11月27日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	23,845,020	95.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,130,778	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	24,975,798	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年6月26日) (2023年7月26日) (2023年8月28日) (2023年9月26日) (2023年10月26日) (2023年11月27日)

項 目	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末
(A) 資 産	24,426,791,181円	24,264,162,169円	24,532,568,869円	24,732,559,526円	24,618,616,473円	24,975,798,978円
コール・ローン等	901,661,456	1,103,365,755	971,750,600	1,087,251,273	1,011,958,775	1,130,778,907
投資証券(評価額)	23,241,129,725	23,160,796,414	23,560,818,269	23,645,308,253	23,606,657,698	23,845,020,071
未 収 入 金	284,000,000	-	-	-	-	-
(B) 負 債	286,908,881	204,971,373	202,316,614	242,044,924	220,234,106	267,439,736
未払収益分配金	132,889,608	134,228,221	134,090,573	134,532,120	134,265,874	134,703,939
未払解約金	131,817,317	48,980,004	44,116,764	85,986,354	63,733,297	108,774,651
未払信託報酬	22,054,590	21,606,643	23,935,972	21,368,633	22,081,261	23,807,487
その他未払費用	147,366	156,505	173,305	157,817	153,674	153,659
(C) 純資産総額(A-B)	24,139,882,300	24,059,190,796	24,330,252,255	24,490,514,602	24,398,382,367	24,708,359,242
元 本	53,155,843,459	53,691,288,550	53,636,229,272	53,812,848,322	53,706,349,787	53,881,575,913
次期繰越損益金	△29,015,961,159	△29,632,097,754	△29,305,977,017	△29,322,333,720	△29,307,967,420	△29,173,216,671
(D) 受益権総口数	53,155,843,459口	53,691,288,550口	53,636,229,272口	53,812,848,322口	53,706,349,787口	53,881,575,913口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,541円	4,481円	4,536円	4,551円	4,543円	4,586円

※当作成期における作成期首元本額53,198,749,978円、作成期中追加設定元本額4,835,589,294円、作成期中一部解約元本額4,152,763,359円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

〔自2023年5月27日
至2023年6月26日〕
〔自2023年6月27日
至2023年7月26日〕
〔自2023年7月27日
至2023年8月28日〕
〔自2023年8月29日
至2023年9月26日〕
〔自2023年9月27日
至2023年10月26日〕
〔自2023年10月27日
至2023年11月27日〕

項 目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
(A) 配 当 等 取 益	148,916,949円	138,769,874円	151,272,510円	151,035,865円	151,126,279円	150,950,811円
受 取 配 当 金	148,963,485	138,806,758	151,316,407	151,085,018	151,160,559	150,973,645
受 取 利 息	135	2,676	1,190	1,235	2,135	1,090
支 払 利 息	△ 46,671	△ 39,560	△ 45,087	△ 50,388	△ 36,415	△ 23,924
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	788,620,702	△ 300,138,227	302,528,074	83,282,939	△ 38,605,974	235,623,143
売 買 損 益	792,884,105	2,494,927	303,710,894	107,647,908	28,423,951	238,358,079
売 買 損 益	△ 4,263,403	△ 302,633,154	△ 1,182,820	△ 24,364,969	△ 67,029,925	△ 2,734,936
(C) 信 託 報 酬 等	△ 22,204,010	△ 21,764,462	△ 24,111,773	△ 21,527,818	△ 22,236,900	△ 23,963,437
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	915,333,641	△ 183,132,815	429,688,811	212,790,986	90,283,405	362,610,517
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 9,534,804,213	△ 8,639,001,372	△ 8,847,299,536	△ 8,406,537,827	△ 8,220,126,954	△ 8,193,785,975
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△20,263,600,979	△20,675,735,346	△20,754,275,719	△20,994,054,759	△21,043,857,997	△21,207,337,274
(配当等相当額)	(3,002,855,290)	(3,033,845,968)	(3,027,276,220)	(3,037,742,809)	(3,032,248,385)	(3,042,948,486)
(売買損益相当額)	(△23,266,456,269)	(△23,709,581,314)	(△23,781,551,939)	(△24,031,797,568)	(△24,076,106,382)	(△24,250,285,760)
(G) 合 計 (D + E + F)	△28,883,071,551	△29,497,869,533	△29,171,886,444	△29,187,801,600	△29,173,701,546	△29,038,512,732
(H) 取 益 分 配 金	△ 132,889,608	△ 134,228,221	△ 134,090,573	△ 134,532,120	△ 134,265,874	△ 134,703,939
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△29,015,961,159	△29,632,097,754	△29,305,977,017	△29,322,333,720	△29,307,967,420	△29,173,216,671
追 加 信 託 差 損 益 金	△20,263,600,979	△20,679,327,228	△20,754,275,719	△20,994,054,759	△21,043,857,997	△21,207,337,274
(配当等相当額)	(3,002,855,290)	(3,030,254,086)	(3,027,276,220)	(3,037,742,809)	(3,032,248,385)	(3,042,948,486)
(売買損益相当額)	(△23,266,456,269)	(△23,709,581,314)	(△23,781,551,939)	(△24,031,797,568)	(△24,076,106,382)	(△24,250,285,760)
分 配 準 備 積 立 金	13,809,787	-	9,145,483	11,617,153	6,089,798	12,927,127
繰 越 損 益 金	△ 8,766,169,967	△ 8,952,770,526	△ 8,560,846,781	△ 8,339,896,114	△ 8,270,199,221	△ 7,978,806,524

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
(a) 経費控除後の配当等収益	145,390,952円	117,005,412円	143,236,056円	137,159,034円	128,889,379円	141,593,089円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,002,855,290	3,033,845,968	3,027,276,220	3,037,742,809	3,032,248,385	3,042,948,486
(d) 分配準備積立金	1,308,443	13,630,927	0	8,990,239	11,466,293	6,037,977
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,149,554,685	3,164,482,307	3,170,512,276	3,183,892,082	3,172,604,057	3,190,579,552
1万口当たり当期分配対象額	592.51	589.38	591.11	591.66	590.73	592.15
(f) 分配金	132,889,608	134,228,221	134,090,573	134,532,120	134,265,874	134,703,939
1万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金 (税引前)	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none">・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・有価証券の空売りは行いません。・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	純資産総額に対して年0.64%程度* *上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えられと考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」をシェアクラスとして含む「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2021年10月 1日から2022年 9月30日)

(単位：米ドル)

投資収益	6,546,109
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	(18,783,365)
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純損益	(3,107,084)
デリバティブに係る純損益	(15,344,340)
<hr/>	
費用	
管理事務代行報酬	24,765
運用報酬	966,359
保管報酬	17,815
専門家報酬	17,819
その他費用	3,278
監査報酬	13,000
為替差損益	(26,869)
<hr/>	
	1,016,167
<hr/>	
金融費用控除前投資純損益	(16,360,507)
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	25,238,787
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(41,599,294)

■ 組入上位銘柄

(基準日：2022年 9月29日)

銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1 Canara Bank 3.875% 28/03/2024	USD	3.875%	2024/03/28	8.5%
2 Abja Investments 5.95% 31/07/2024	USD	5.950%	2024/07/31	8.4%
3 Muthoot Finance 4.40% 02/09/2023	USD	4.400%	2023/09/02	6.8%
4 Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/02/13	6.4%
5 Hindustan Petroleum Corp 4.00% 12/07/2027	USD	4.000%	2027/07/12	6.3%
6 NTPC 3.75% 03/04/2024	USD	3.750%	2024/04/03	5.0%
7 Indian Oil Corp 4.75% 16/01/2024	USD	4.750%	2024/01/16	4.6%
8 EXIM Bank 3.875% 01/02/2028	USD	3.875%	2028/02/01	4.5%
9 Rural Electrification Corporation 5.25% 13/11/2023	USD	5.250%	2023/11/13	4.4%
10 OIL India 5.375% 17/04/2024	USD	5.375%	2024/04/17	4.3%
全銘柄数			29銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」をシェアクラスとして含む「コタック・フレキシィー・デット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日)

(単位：米ドル)

投資収益		
利息収入		3,031,403
損益を通じて公正価値で測定される金融資産にかかる純損益		(4,600,376)
		(1,568,973)
費用		
為替にかかる未実現純損益		64,565
投資運用報酬及び保管報酬		310,953
保管報酬		8,027
その他の営業費用		12,946
管理事務代行報酬		20,000
監査報酬		12,500
専門家報酬		17,738
規制手数料		6,450
営業費用合計		453,179
税引前損益		(2,022,152)
所得税控除		(149,263)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額		(2,171,415)

■ 組入銘柄

(基準日：2023年3月31日)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	比率
1	7.42% FRB GOI 22/09/2033	INR	7.42%	2033/9/22	53.0%
2	5.74% GOI 15/11/2026	INR	5.74%	2026/11/15	32.0%
3	7.62% NABARD Limited 31/01/2028	INR	7.62%	2028/1/31	7.6%
4	5.15% GOI 09/11/2025	INR	5.15%	2025/11/9	6.1%
5	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026	INR	9.46%	2026/8/1	0.3%
6	9.45% Power Finance Corporation Limited (SR 77-B) 01/09/2026	INR	9.45%	2026/9/1	0.1%
	全銘柄数			6銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。